

現在公開されている取扱説明書（版番号：S JA22F1 ※）は、Ver.1.2.2.3まで対応しています。
本書は、Ver.1.2.2.3よりも新しいバージョンで追加された新しい機能のご利用方法について説明しています。
取扱説明書とあわせてお読みください。

※ 取扱説明書の版番号については、取扱説明書の背表紙の右下（下記の図に示した位置）に記載しています。



本書の構成について

本書は、第1章1部構成となっています。

第1章： e-Signage S Ver.1.2.2.3→Ver.1.2.2.10 で追加された機能 2

第1章 Ver.1.2.2.3→Ver.1.2.2.10 で追加された機能のご利用方法

第1章では、e-Signage S Ver.1.2.2.3→Ver.1.2.2.10 で追加された、次の機能について説明します。

取扱説明書 P.80、92、94、104、124、183

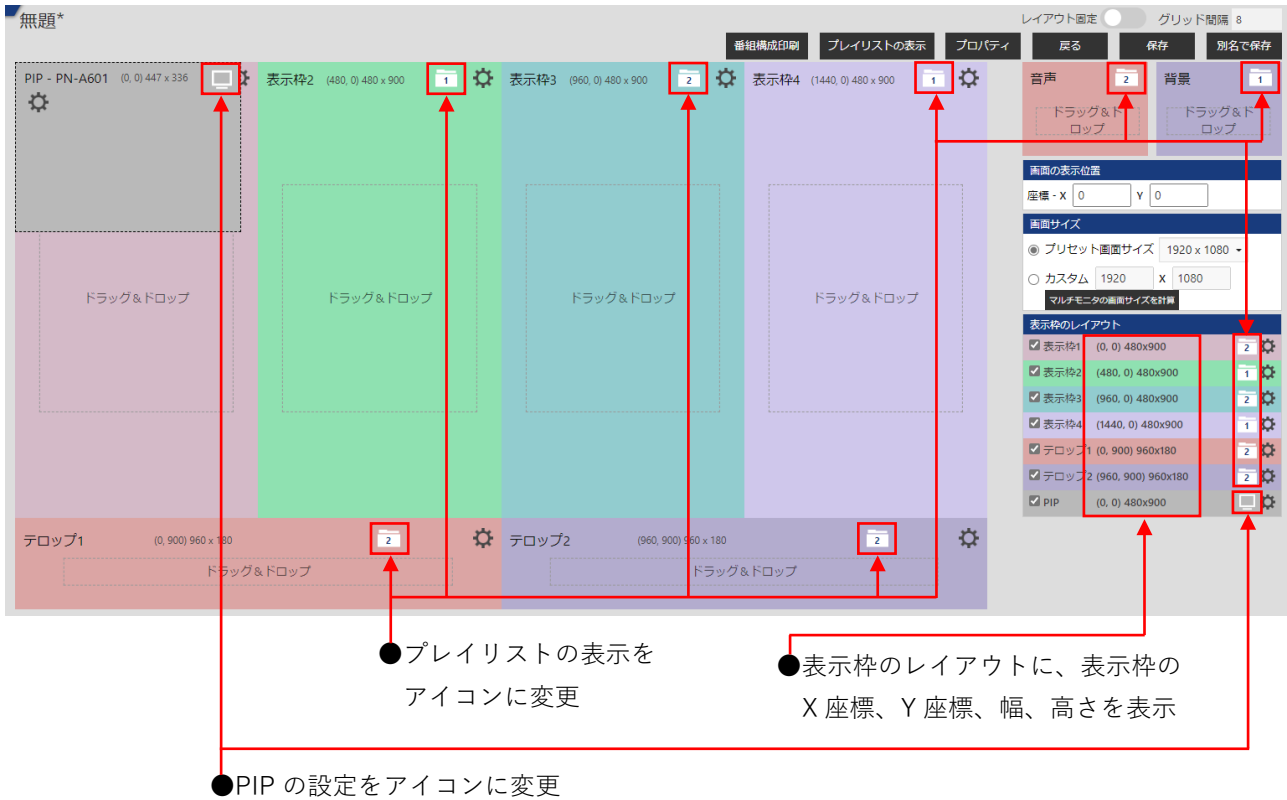
1. 番組編集画面の画面デザインを改善しました。また、補助線が表示されるようになりました。
 2. スケジュール編集画面のタイムテーブルに番組を登録した時、固定色の代わりに番組色を表示するよう変更しました。
 3. チャンネルセット編集画面にプロパティボタンを追加し [チャンネルセット名] と [チャンネルセット色] を編集できるようにしました。
 4. パネル制御コマンドに明るさの制御コマンドを追加しました。スケジュール編集画面のコンテンツ選択エリアにある「パネル制御コマンド」を「パネルの電源、明るさ制御」と「パネルの入力切換」の2つのコンテンツに分けました。
 5. 状態監視・制御画面の制御メニューにある「端末/パネル制御」を「端末制御」と「パネル制御」の2つのメニューに分けました。
 6. PULL型配信の表示用PCへ配信し、管理用PC側に配信エラーデータがあった場合に、クライアントスケジューラーから再配信操作を行えるようにしました。
-

1. 番組編集画面の画面デザインを改善しました。また、補助線が表示されるようになりました。

番組編集画面のデザインを変更し、プレイリストの表示ボタンとPIPの設定の表示ボタンを、アイコンに変更しました。

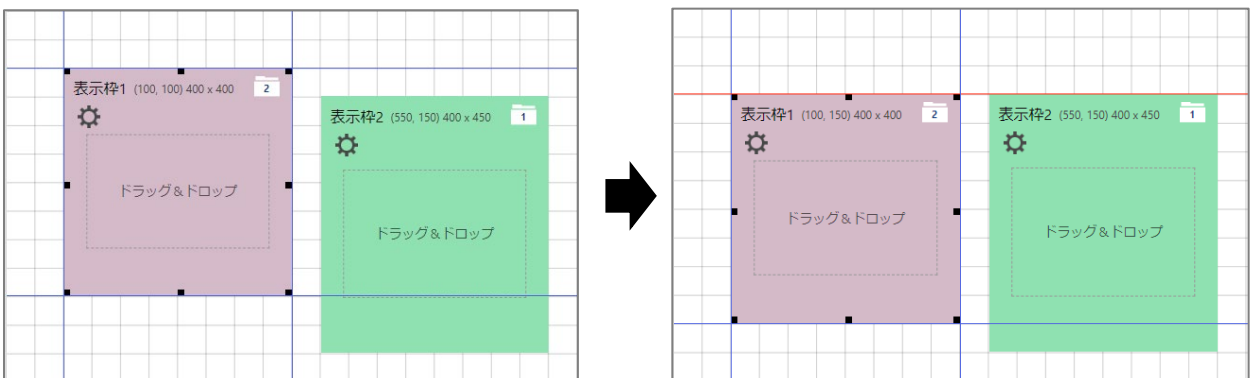
プレイリストの表示アイコンには、コンテンツフォルダーの登録数を表示します。

また、[表示枠のレイアウト] に、表示枠の位置 (X,Y座標)とサイズ(幅x高さ)を表示するよう変更しました。



表示枠を選択すると、表示枠の上下左右に補助線が表示されるようになりました。

他の表示枠と位置が一致すると、補助線は青色から赤色に変わります。



選択した表示枠 1 の上下左右に青色の線が表示されます。

表示枠 1 の上下左右の線が、他の表示枠と一致した場合、一致した線が赤色の線で表示されます。

取扱説明書 P.92 説明文追加

2. スケジュール編集画面のタイムテーブルに番組を登録した時、固定色の代わりに番組色を表示するよう変更しました。

スケジュール編集を行う時、タイムテーブルに割り当てた番組の番組色を表示するようになりました。

04:00	
05:00	05:00 - 12:00
06:00	午前番組
07:00	
08:00	
09:00	
10:00	
11:00	
12:00	12:00 - 18:00
13:00	午後番組
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	18:00 - 23:00
19:00	夜の番組
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	

番組作成時に指定した色が、タイムテーブルに表示されます。

取扱説明書 P.104 説明文追加

3. チャンネルセット編集画面にプロパティボタンを追加し [チャンネルセット名] と [チャンネルセット色] を編集できるようにしました。

チャンネルセットの編集画面にプロパティボタンを追加し [チャンネルセット名] と [チャンネルセット色] を編集できるようになりました。



4. パネル制御コマンドに明るさの制御コマンドを追加しました。スケジュール編集画面のコンテンツ選択エリアにある「パネル制御コマンド」を「パネルの電源、明るさ制御」と「パネルの入力切換」の2つのコンテンツに分けました。

「パネル制御コマンド」を、使用目的に合わせて「パネルの電源、明るさ制御」と「パネルの入力切換」に変更しました。本変更は、プレーヤーのみ対応しており、プレーヤーA1は対応しておりません。



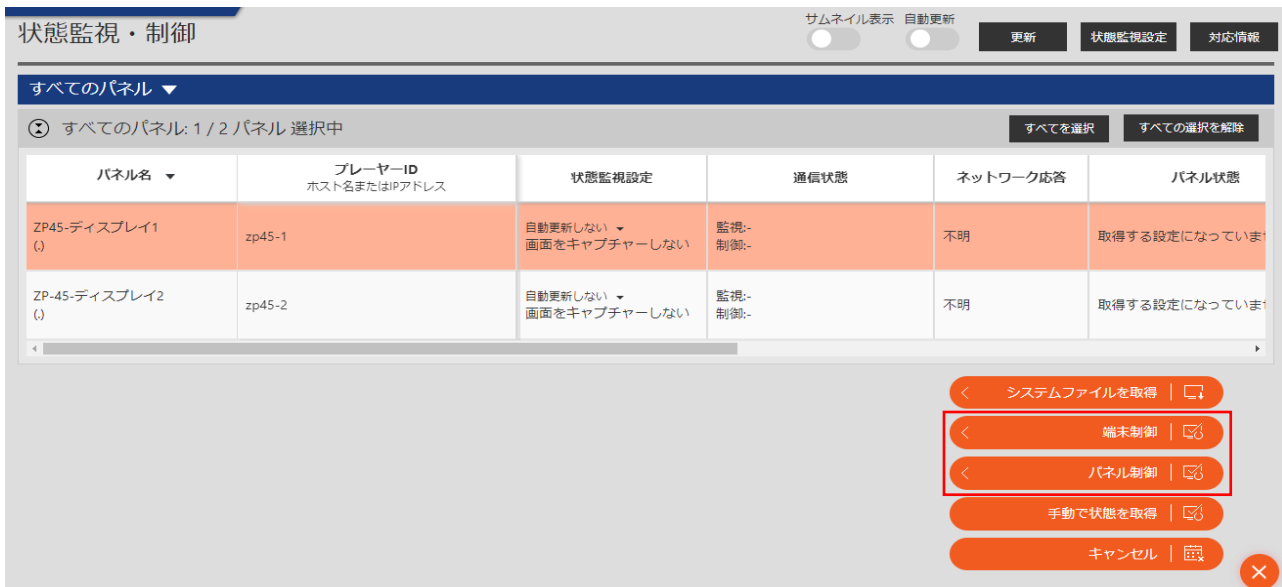
それぞれの制御で使用できるコマンドは、下表の通りです。

制御コマンド	選択項目
パネルの電源、明るさ制御	パネルの電源をON、パネルの電源をOFF、明るさ0%、明るさ10%、明るさ20%、明るさ30%、明るさ40%、明るさ50%、明るさ60%、明るさ70%、明るさ80%、明るさ90%、明るさ100%
パネルの入力切換	入力1、入力2、入力3、入力4、入力5、入力6、入力7、入力8、入力9、入力10、入力11、入力12、入力13、入力14、入力15、入力16、入力17、入力18、入力19、入力20、入力21、入力22、入力23、入力24、入力25、入力26、入力27、入力28、入力29、入力30、TV

状態監視・制御画面の制御メニューのパネル制御でも、パネルの明るさやパネルの入力切換を変更できます。

5. 状態監視・制御画面の制御メニューにある「端末/パネル制御」を「端末制御」と「パネル制御」の2つのメニューに分けました。

「端末/パネル制御」を使用目的に合わせて「端末制御」と「パネル制御」に変更しました。



それぞれの制御で使用できるコマンドは、下表の通りです。

プレーヤーA1では、一部のコマンドに対応していません。対応していないコマンドは使用しないでください。

制御メニュー	選択項目	プレーヤー	プレーヤーA1
端末制御	表示用端末の電源をON	○	×
	表示用端末の電源をOFF	○	×
	表示用端末の再起動	○	○
	表示用端末の時計合わせ	○	○
	再生を一時中断	○	×
	再生を再開	○	×
	チャンネル表示	○	×
パネル制御	パネルの電源をON	○	○
	パネルの電源をOFF	○	○
	パネルの明るさを変更	○	×
	パネルの入力切換	○	○
	パネルの入力をTVに切換	○	×

6. PULL型配信の表示用PCへ配信し、管理用PC側に配信エラーデータがあった場合に、クライアントスケジューラーから再配信操作を行えるようにしました。

以下は、管理用PCに配信エラーとなったデータがあった場合に、表示用PCから再配信を要求する手順です。

- 1 表示用PCのタスクバーに表示されているクライアントスケジューラーのアイコンをマウスの右ボタンでクリックしメニューを表示する。
- 2 クライアントスケジューラーのメニューから「管理用PCからデータを取得」をクリックする。
- 3 「管理用PC配信状況を取得しました」のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックする。
- 4 「管理用PCからデータを取得（配信状況）画面」が表示されるので、「配信エラー」が表示されている行をクリックする。
- 5 「再配信」ボタンをクリックする。
- 6 「OK」をクリックすると再配信を要求することができます。

配信、臨時番組配信、緊急テロップ配信、プレーヤー更新、の各配信に対して、再配信操作が行えます。

